

第8回島田市都市計画マスタープラン等 まちづくり市民会議 議事要旨

◆日時：平成31年3月25日（月）18：45～20：30

◆場所：市役所4階第三委員会室

◆出席者：

○まちづくり市民会議委員（15人）

区分	氏名	職業等（所属）	備考
公募	権田 真知子	自営業（ヨガインストラクター）	欠席
	荒井 浩介	会社代表（(株)荒井建築計画事務所）	
	戸塚 康之	会社役員（(有)アスカエンジニアリング）	
団体推薦	佐久間 章次	島田商工会議所	会長
	木村 恭輔	島田青年会議所	欠席
	鶴川 忠章	島田市社会福祉協議会	
	新聞 康博	島田市自治会連合会	
	太田 拓男	島田市自治会連合会	
その他	北川 有香	男女協働参画啓発推進委員	
	田代 紗莉依	静岡県立大学 薬学部	
	鈴木 悠	静岡福祉大学 社会福祉学部	
市職員	堀崎 大二郎	地域生活部 協働推進課	
	北川 未奈子	行政経営部 人事課	
	安達 佑美	教育部 社会教育課	
	杉浦 元紀	支所 川根地域総合課	

（事務局）：島田市都市基盤部

都市政策課 大畑課長、大池係長、遠藤主査

（事務局補助）：株式会社オオバ名古屋支店 小柳、丸山

◆会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 全体構想（案）について
 - (2) 今後のスケジュールについて
4. その他
5. 閉会

◆配布資料

- ・全体構想案
- ・まちづくり市民会議における検討事項
- ・地域別ワークショップスケジュール

■議事要旨

項 目	意見概要 (⇒は事務局回答)
<p>第5章 都市の将来像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市づくりの基本理念」から「都市の将来像」の流れが、市民にとっては分かりにくいという感想。基本理念の文章は、島田市だけでなく、多くの都市に共通する考え方であり、都市の将来像の説明文に組み込んでよいのではないか。 ⇒「基本理念」は、今回の都市計画マスタープランの根底となる部分として、「都市づくりの方向性」「都市のありたい姿」から導いたものとして、示しておきたい。
<p>第6章 都市づくりの方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会議からの意見も踏まえ、きちんと整理していただいている。ただ、10年前の都市マスとの違いが分からない。都市構造図にしても、各地域拠点の特徴とか、もう一步、踏み込んだ内容とならないか。 ⇒第6章までは、「全体構想」としてまとめており、次の「第7章 地域別構想」において、地域毎に踏み込んだ内容をまとめる予定。市内の6地域について、地域別ワークショップ等を開催し、次年度にまとめていきたい。 ・2040年の20年後の未来を考えれば、方針の内容に「先端技術」のことをもっと明記しないと、20年後に社会がどう変わっているかが見えてこない。もっと情報収集をして記載してはどうか。 ⇒今後、日進月歩する「先端技術(テクノロジー)」による問題解決の方法を、都市マスの方針の中で、書き込むことは難しい面がある。ただし、「(1)④ICTなどを活用した生活の利便性向上」や「(3)②ICTを活用した次世代交通システムの導入」など、市として今後、積極的に取り組みたい内容は、できるだけ記述したい。各項目の説明文を記載するなかで、できるだけ表現したい。 ・「全体構想」と「地域別構想」は相互に関連があると思うが、地域別構想の内容によっては、全体構想に影響が出た場合はどうするか。 ⇒「地域別構想」の結果も踏まえ、必要に応じて「全体構想」を見直す場合もある。 ・テーマ別方針については、ページも多いことから、市民にとっては分かりにくい。A3版で図式化するなどして、一目でわかるようにできないか。 ⇒市民向けには【概要版】を作成する予定であり、市民により分かりやすいように工夫したい。 ・(仮称)鎌塚橋の記述があるが、どう位置づけられているか。 ⇒現在の都市マスにも位置づけられており、その内容を継承している。 ・テーマ別方針については、市民会議のワークショップの際にも、その境界の曖昧さが指摘されていたが、同じ項目が何度も記載されるなど、分かりにくい部分がある。もう少し何とかならないか。 ⇒“まちづくり”の施策においては、どうしても多面性があり、分かりにくい所であるが、「都市計画マスタープラン」は、方針を定めるものであるため、未来マップなどのイラストで工夫するとともに、より具体的な内容については、別計画(立地適正化計画)の中で検討していききたい。

■議事要旨

項 目	意見概要 (⇒は事務局回答)
<p>第6章 都市づくりの方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「(1) 中心市街地のにぎわい創出」とあるが、“にぎわい”という言葉では、まちの特色が伝わらない。まちの“色”が見えてこないと思う。どんな形で“にぎわい”を創出するのかを具体的に記載できるとよい。 ⇒文章だけで表現するのは限界があるため、“にぎわい”のイメージを具体手なイメージ図等で示すことを考えたい。 ・テーマ別方針については、たくさん項目があるが、全ての内容を一律に実現することも難しいと思う。それぞれの項目については、力を入れてやることは何か“強弱”をつけられないか。 ⇒前回の都市マスでは、重点項目として「景観」などを挙げていた。今後、検討したい。
<p>今後のスケジュール (市民会議の 検討課題について)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によっては、各種団体が活発に活動しており、いろいろなことを検討している。そうしたい内容が、反映されてこないといけない。地域別ワークショップのメンバーに、商工会や企業などのメンバーが入っているか。 ⇒地域別ワークショップのメンバーは、自治会からの推薦、PTA や保育園等の関係者などとしている。メンバーについては、今後検討したい。また、関係団体にはヒアリング等をして、情報収集に努めたい。 ・「第8章 実現に向けて」とあるが、計画の実現性を考えると、地域の活動と、都市マスの全体構想、地域別構想と乖離してはいけない。どのように、整合性を図るか。 ⇒「都市マス」の基本理念にある方向性から外れると実現化できなくなる。地域に対して、「都市マス」の考え方、方針を説明し理解してもらおうとともに、地域での取り組みとの整合性を図ることを進めていく。

以 上